

2016年度公益社団法人日本図書館協会事業報告

はじめに

日本図書館協会（以下「日図協」）は、2014年1月21日に公益社団法人として再出発し、2016年度は公益社団法人として3年目の年であった。事業運営においては、事業計画にそって展開し、成果をあげてきた。法人運営においては、12月に「中期財政再建計画（2012-2015）の自己点検・評価並びに今後の課題解決と展望について（報告）」と題して理事会に報告したところである。中期財政再建計画の当初目標は達成しえたものの、解決すべき課題も残されている。今後の展望のなかでは、2017～2019年度までは厳しい財政状況が想定されるが、それを乗り越えれば課題解決の日程が展望できる。

以下事業計画の基本方針に沿ってその結果を概観し、以後事業実施状況を報告する。

A 事業結果の概略

1. 図書館活動の中核を担う図書館職員の育成・研修

全国図書館大会をはじめ、各部会の研究集会等は予定通り実施した。研修・セミナーについては、毎年実施されている中堅職員ステップアップ研修、児童図書館員養成専門講座、障害者サービス担当職員養成講座のほか、各委員会が主催するセミナー等を積極的に実施した。特に図書館の管理運営にかかわる指定管理者制度についてのセミナーや、高齢化が進む中で高齢者や認知症の人に焦点を当てたサービスの在り方のセミナーなどが目立ったものといえよう。

2. 図書館振興のための調査・研究及びその成果の普及と資料収集

図書館サービス、図書館資料や情報、図書館の管理運営など図書館の状況が急速に変化する中で、それらの状況を的確にとらえ、分析し、その結果を図書館振興に役立てていくために、各種の調査研究や資料の収集・提供を積極的に展開した。なかでも、2015年に実施した調査に基づく『多文化サービス実態調査 2015 報告書』を刊行し、2014年に実施された児童図書館サービス調査についても、報告書の刊行に向けて準備している。そのほか、図書館が地域創生、まちづくり等に果たす役割の重要性を確認するため、公共図書館部会が「自治体の総合計画等における図書館政策の位置付けについて」のアンケート調査を行い、8割近い回答を得た。また、「日本十進分類法」「日本目録規則」「基本件名標目表」についても、各委員会が時代の要請にこたえて、維持・改訂の作業を続けている。

また図書選定事業は2015年度で終了したが、2016年度は図書紹介事業として試行し、2017年度から本格実施となる予定である。

3. 政策提言など図書館振興のための活動

障害者のための「合理的配慮」の普及と実践については、2016年3月にまとめた「図書館における障害を理由とする差別の解消の推進に関するガイドライン」をもとに、各地で開催された研修会、セミナー、ワークショップ等で積極的に普及に努めた。

学校図書館に関しては、6月に公表した「学校図書館職員問題検討会報告書（案）」をも

とに、文部科学省の「学校図書館の整備充実に関する調査研究協力者会議」に意見を伝え、学校司書の養成カリキュラム等に反映することができた。そして9月に「学校図書館職員問題検討会報告書」を公表した。

また、図書館の管理運営については、9月に「公立図書館における指定管理者制度2016」をまとめるとともに、9月に「図書館に係る地方交付税算定におけるトップランナー方式の導入に強く反対します」という意見書を総務大臣及び文部科学大臣に提出した。

更に、4月には熊本地震が発生したが、図書館災害対策委員会のもとに現地調査を実施し、復旧に向けての講師派遣や助成金の提供などを行った。

B 事業実施状況

I. 公益目的事業

1. 講座・セミナー・育成

(1) 第102回全国図書館大会東京大会の開催

テーマ：地域創造と図書館の未来

2016年10月16日 青山学院大学青山キャンパス 参加者：1339名

分科会一覧

	分野別	テーマ	担当	参加者
1	公共図書館	公共施設の再編と公立図書館の未来	図書館政策企画委員会	159
2	大学図書館	2020年に向けたNACSIS-ILLの再構築	大学図書館部会	83
3	学校図書館	法改正後の学校図書館を考える	学校図書館部会	45
4	図書館情報学教育	学校図書館専門職員養成のこれからーIFLA学校図書館ガイドラインを踏まえてー	図書館情報学教育部会	56
5	児童青少年サービス	キラリと光る小さな町の児童サービス	児童青少年サービス委員会	54
6	障害者サービス／専門図書館	障害者差別解消法への具体的取組ー専門図書館等各地図書館の実践からー	障害者サービス委員会・専門図書館部会	98
7	図書館の自由	図書館におけるプライバシー保護の現在	図書館の自由委員会	45
8	出版流通	転換期の出版界と図書館との連携・協力	出版流通委員会	89
9	資料保存	ここからはじまる資料保存ー未来に残し、伝えるためにー	資料保存委員会	94

10	多文化サービス	図書館の多文化サービスは、いま	多文化サービス委員会	42
11	職員問題	これからの専門職制度を考える	図書館政策企画委員会非正規雇用検討チーム	56
12	健康情報	ヘルスリテラシー本当に役に立つ情報を見極めるテクニック	健康情報サービス委員会	52
13	利用教育	館種を超えた情報リテラシー教育の枠組みづくりに向けてー先駆的事例から考える図書館の新しい役割ー	図書館利用教育委員会	40
14	市民と図書館	公立図書館における市民参画のあり方ー図書館協議会の現状と未来ー	図書館友の会全国連絡会	73

(2) 研究集会等の開催

部会名	名称・内容	場所	期日	参加者
公共図書館部会	公共図書館全国研究集会(総合・経営部門、サービス部門) テーマ:図書館がもっと輝くためにできること	北九州市立商工会館	2017年1月19日~20日	180
大学図書館部会	大学図書館シンポジウム テーマ:10年後の大学図書館を考える~オープンアクセス時代の大学図書館の新たな役割	パシフィコ横浜	2016年11月10日	225
短期大学・高等専門学校図書館部会	ワークショップ:国際子ども図書館の機能変化	国立国会図書館国際子ども図書館	2016年11月22日	20
学校図書館部会	第45回学校図書館夏季研究集会 テーマ:これからの学校図書館を考える	国立国会図書館国際子ども図書館	2016年8月5日~6日	113
図書館情報学教育部会	第1回研究集会 テーマ:データライブラリアンとその育成	日図協研修室	2016年6月5日	18
図書館情報学教育部会	第2回研究集会 テーマ:学校図書館専門職員養成	日図協研修室	2017年2月5日	63

(3) 図書館職員の育成(研修・セミナー等)

委員会名	名称・内容	場所	期日	参加者
研修事業委員会	中堅職員ステップアップ研修(1)	日図協研修室	2016年10月 24日～11月 30日)	42 (修了者)
研修事業委員会	中堅職員ステップアップ研修(2)	日図協研修室	2016年6月 13日～10月 12日	11 (修了者)
図書館政策企画 委員会	政策セミナー「図書館の指定管理者制 度について～図書館職員として、市民 として見えてきたもの」	日図協研修室	2017年3月 4日	43
図書館政策企画 委員会	図書館基礎講座	福島県図書館	2016年8月 22日、29日	延185
図書館政策企画 委員会	図書館基礎講座	奈良県立図書 情報館	2016年11月 14日、29日	延140
図書館政策企画 委員会	図書館基礎講座	愛知大学	2016年12月 5日、19日	延120
図書館政策企画 委員会	図書館基礎講座	熊本県市町村 自治会館	2017年1月 23日、30日	延244
図書館政策企画 委員会	図書館基礎講座	日図協研修室	2017年2月 13日、27日	延205
図書館の自由委 員会	マイナンバーカードの図書館利用に 関する学習会	大阪市立総合 生涯学習セン ター	2017年1月 30日	80
児童青少年委員 会	第36回児童図書館員養成専門講座 (前期)	日図協研修室	2016年6月 27日～7月2 日	18
児童青少年委員 会	第36回児童図書館員養成専門講座 (後期)	日図協研修室	2016年9月 26日～10月 5日	18
障害者サービス 委員会(関東)	障害者サービス担当職員養成講座 (基礎コース)	日図協研修室	2016年6月 8日から0日	25
障害者サービス 委員会(関西)	障害者サービス担当職員向け講座	国立国会図書 館関西館	2016年12月 12日～15日	65
障害者サービス 委員会	開こう障害者サービス研修会(各地の 研修会に講師を派遣)	各県図書館等	年間	18件

資料保存委員会	資料保存セミナー(見学会)	国立公文書館	2016年6月 13日	20
資料保存委員会	資料保存セミナー「写真保存の基礎— どのように残すことがベストなの か?—」	日図協研修室	2016年9月 9日	35
資料保存委員会	資料保存セミナー「図書資料の修理～ 基本的な考え方と知識・技術」	日図協研修室	2016年12月 19日	20
資料保存委員会	資料保存セミナー(見学会)	一橋大学社会 科学古典資料 センター	2017年2月 13日	28
図書館施設委員 会	第38回図書館建築研修会 「対話に基づく図書館設計」	明治大学和泉 図書館	2017年2月 21日	80
目録委員会	「日本目録規則(NCR)2018年版」(仮 称)についての検討集会	大阪市立中央 図書館	2017年3月 5日	101
健康情報委員会	研修会「“認知症の人にやさしい図書 館”をあなたの街でつくるには?」	グローバルビ ジネスハブ東 京	2017年1月 16日	36
図書館利用教育 委員会	第21回図書館利用教育実践セミナー in 名古屋「館種を超えた情報リテラ シー教育の枠組みづくりに向けて」	椋山女子学園 大学中央図書 館	2017年3月 12日	27

(4) 第7期認定司書事業(認定司書事業委員会)

第7期認定司書新規19名(2017.4.1付)、(延べ135名)

普及事業として第18回図書館総合展ポスターセッションに参加

2. 研究・資料収集

(1) 図書館に関する調査研究及び成果の普及並びに資料収集

①指定管理者制度の導入状況調査(図書館政策企画委員会)

都道府県立図書館の協力を得て実施。時期:2016年5~7月

②『図書館政策資料XVI 指定管理者制度4』、『図書館政策資料XVII 指定管理者制度5』の刊行(図書館政策企画委員会)

③『図書館の自由 ニュースレター集成』第4集(2011-2015)の刊行(図書館の自由委員会)

④『図書館の自由を求めて:「図書館の自由に関する宣言」採択50周年座談会・60周年記念講演会記録集』発行

⑤児童図書館サービス全国調査(児童青少年委員会)

調査結果を集計、報告書準備中

- ⑥『多文化サービス実態調査 2015 報告書』刊行（多文化サービス委員会）
- ⑦日本十進分類法（分類委員会）
 - ・『日本十進分類法（NDC）新訂 10 版』の維持・管理
 - ・『NDC 10 版改訂箇所一覧』の刊行
 - ・『NDCの手引き「日本十進分類法」新訂 10 版入門』の刊行準備
 - ・日本十進分類法の Linked Data 形式化の共同研究を終了し、公開に向けての検討を継続
- ⑧日本目録規則（目録委員会）
 - ・「日本目録規則(NCR)2018 年版」（仮称）の策定に向けて、国立国会図書館収集書誌部と連携して作業を継続
 - ・2017 年 2 月に「全体条文案」を公表し、パブリック・コメントを実施。
- ⑨基本件名標目表（件名委員会）
 - 『基本件名標目表（BSH）第 4 版』の件名標目に NDC10 版の分類番号を付与
 - 『基本件名標目表（BSH）第 4 版』の追加件名の検討。1490 件と国名標目 28 件
- ⑩『日本の図書館 統計と名簿 2016』（図書館調査事業委員会）
 - 全国公共図書館及び大学図書館の統計と名簿の刊行（紙版及び CD - ROM 版）
- ⑪『図書館雑誌』第 110 巻 4 号～第 111 巻 3 号（図書館雑誌編集委員会）
- ⑫『現代の図書館』第 54 巻 1 号～第 54 巻 4 号（現代の図書館編集委員会）
- ⑬『図書館年鑑 2016』7 月刊行（図書館年鑑編集委員会）
- ⑭『JLA 図書館実践シリーズ』『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ』（出版委員会）
 - 継続して刊行
- ⑮ 図書選定事業（図書選定事業委員会）
 - 『選定図書総目録 2016 年版』（CD-ROM 版）を刊行

（2）図書館関係資料室「図書館の図書館」の運営

図書館の管理・運営・サービス等に関する資料を体系的に収集し、一般の利用に供した。来室者：延べ 166 名 資料貸出数：525 点 問合せ：136 件

3. 図書館の振興

（1）意見表明等

- ・学校図書館の整備充実に関する調査研究協力者会議宛「学校図書館の整備充実に係るこれまでの意見を踏まえた論点整理（案）に対する意見」（5 月 10 日）
- ・参議院議員選挙候補者宛「図書館の一層の充実を－参議院議員選挙に際して望むこと－」（6 月 22 日）
- ・「学校図書館職員問題検討会報告書」（9 月）
- ・総務大臣・文部科学大臣宛「図書館に係る地方交付税算定におけるトップランナー方式導入に強く反対します」（9 月 8 日）

- ・「公立図書館の指定管理者制度について－2016」 (9月30日)
 - ・各政党地方創生政策担当宛「地域総合計画に図書館施策を(要望)」(12月15日)
 - ・文部科学省パブコメ「第3期教育振興基本計画策定に向けた基本的な考え方への意見」(3月6日)
 - ・文化庁文化審議会著作権分科会法制・基本問題小委員会中間まとめに関する意見募集への意見提出(障害者サービス委員会・著作権委員会)(3月27日)
- (2) 図書館設置及び運営等に関する相談・助言
各地の図書館や団体等からの相談に応じた 各月数件
- (3) 日本図書館協会建築賞
建築賞の選考・顕彰(図書館施設委員会)
第32回建築賞として、聖籠町立図書館(新潟県)を選考し、全国図書館大会(東京)で表彰
- (4) 図書館記念日・図書館振興の月ポスター頒布
- (5) 国際交流(国際交流委員会)
- ・IFLA コロンバス大会への参加。8月13日～19日。日本からの参加者69名
 - ・国際学校図書館協会(IASL)東京大会の共催・支援(8月22日～26日)明治大学
 - ・アリゾナ ホーナーフェローシップ・プログラムの実施(10月29日～11月14日)
岩下雅子氏(志學館大学)をホーナーフェローとして派遣。AzLA年次大会に参加。
 - ・韓国図書館協会(KLA)との交流(10月25日～29日)
松山委員(玉川大学)が日図協理事長代理として訪韓し、KLA年次大会に参加
- (6) 被災地支援
- [図書館災害対策委員会]
- ①熊本地震被災状況調査 5月26日～18日、23日～15日
 - ②災害復興に関する研修会への講師派遣 1件
 - ③助成金による支援 7件
 - ④災害を記録し紹介する活動 写真パネルの作成、展示、貸出
- [東日本大震災対策委員会]
- ①情報交換会および支援情報交換会 8月18日
 - ②被災地図書館視察 5月9日～10日、5月20日～21日、10月12日
 - ③図書館再建支援および物品による支援 大槌町立図書館、陸前高田市立図書館(以上岩手県)、南三陸町図書館(宮城県)
 - ④学校図書館整備および物品による支援 釜石市立唐丹小学校、唐丹中学校、大槌町立大槌学園(以上岩手県)、東松島市立宮野森小学校(宮城県)、福島県立双葉高等学校
 - ⑤助成金による支援 計10館
 - ⑥仲介・協力 CD寄贈の仲介、学校図書館に対する支援事業への協力
 - ⑦震災を記録し記憶する活動 写真、資料保存パネル等の貸出および展示、講師派遣

II. 収益目的事業

- ・日本図書館協会施設の貸与。

2017年2月から一般社団法人情報科学技術協会が新たに入居し、専門図書館協議会と合わせて2団体。

III. 管理運営活動

1. 会員の動向

集会や展示会等で入会案内を配布するなど会員拡大の活動を行った。2013年度に会員数が大きく前年度を下回った(約300減)が、以後徐々に減少幅が小さくなり、2016年度は正会員数182減であった。

2. 公正・透明な管理運営の推進

代議員総会、理事会、常任理事会において、それぞれ公正・透明な運営に努めた。また、部会活動費等経理事務取扱要項により、部会経理の適正化に努めた。

3. 健全な財政基盤の確立

12月に「中期財政再建計画(2012-2015)の自己点検・評価並びに今後の課題解決と展望について(報告)」と題して理事会に報告した。中期財政再建計画の達成はなしえたものの、解決すべき課題も残されている。今後の展望のなかでは、2017～2019までは厳しい財政状況が想定されるが、それを乗り越えれば課題解決の日程が展望できる。

[資料1] 会員現数(2017年3月31日現在)

- ・個人会員：3401
- ・施設会員：2223(公共1205、大学670、短大高専164、学校58、専門106、その他20)
- ・団体会員：13
- ・賛助会員：47件 120口
- ・準会員：15

[資料2] 部会活動報告

部会名	活動内容
公共図書館部会	・総会及び第1回幹事会 2016年6月17日 ・第2回幹事会 2017年2月21日 ・「自治体の総合計画等における図書館政策の位置付けについて」のアンケート実施(8月～12月) ・部会通信の発行 第2号～第6号
大学図書館部会	・部会委員会開催 第1回2016年6月6日 慶應義塾大学 第2回2016年11月17日(文書審議) 第3回2017年3月6日(文書審議)

短期大学・高等専門学校 校図書館部会	・総会及び第1回幹事会 2016年6月17日 日図協会議室 第2回幹事会 2016年9月1日 国立国会図書館国際子ども 図書館 第3回幹事会 2017年3月9日日図協会議室
学校図書館部会	・学校図書館職員問題検討会への委員の派遣 ・「第3期教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方」 のパブコメ募集に対する意見のとりまとめ ・部会報発行 6月、12月、3月 ・部会総会 2016年5月28日 ・部会幹事会 5月28日、7月28日、10月2日、11月20 日、1月8日、3月18日
専門図書館部会	・部会選出代議員の交代 ・役員会はメール会議
図書館情報学教育部 会	・幹事会の開催 6月5日、10月16日、2月25日 ・会報（電子版）第113～116号の発行

[資料3] 会員のつどい開催状況

名称	場所	時期	参加者
第9回日本図書館協会九州地区図書館のつどい	福岡県立図書館	2016年9月 25日	62
日本図書館協会四国ブロックのつどい	高知県教育センター	2016年10月 10日	119
日本図書館協会神奈川のつどい2016 「神奈川の図書館を語ろう」	横浜市開港記念会館	2016年11月 9日	45
日本図書館協会会員の集い2015in 長野	信州大学附属図書館 中央図書館	2016年11月 23日	23
第11回日本図書館協会東海地区会 員のつどい「地方での司書の腕を磨 くー自助、共助、他助？ -」	岐阜県図書館	2017年2月5 日	38

[資料4] 出版事業（2016年4月～2017年3月）

<定期刊行物>

- ① 機関誌『図書館雑誌』月刊 B5 平均64p 7000部 933円（5, 8, 12月：1238円）
（110巻4号～111巻3号）
- ② 『現代の図書館』季刊 B5 平均64p 2600部 1300円（54巻1～4号）
- ③ 『日本の参考図書・四季版』季刊 B5 平均32p 2360部 600円（No.199～202）

<単行書等>

- 新刊（16点）

- ①『図書館の自由を求めて 「図書館の自由に関する宣言」採択 50 周年座談会・60 周年記念講演会記録集』 図書館の自由委員会編 A5 117p 1500 部 1200 円 4 月 30 日刊
 - ②『インターネットで文献探索』2016 年版 (JLA 図書館実践シリーズ 7) 伊藤民雄著 B6 204p 1800 部 1800 円 5 月 30 日刊
 - ③『図書館の原則』 改訂 4 版 図書館における知的自由マニュアル (第 9 版) アメリカ図書館協会知的自由部編纂 川崎良孝ほか訳 A5 305p 1500 部 3000 円 7 月 20 日刊
 - ④『図書館年鑑 2016』 図書館年鑑編集委員会編 B5 575p 1800 部 17000 円 7 月 30 日刊
 - ⑤『「図書館のめざすもの」を語る』(JLA 図書館実践シリーズ 30) 第 101 回全国図書館大会第 14 分科会運営委員編 B6 151p 1500 部 1500 円 7 月 30 日刊
 - ⑥『選定図書総目録』 2016 年版 日本図書館協会編 CD-ROM 100 部 20000 円 7 月 31 日刊
 - ⑦『NDC10 版改訂箇所一覧』 大曲俊雄編 分類委員会監修 A4 63p 2400 部 1500 円 9 月 28 日刊
 - ⑧『図書館ハンドブック』 第 6 版補訂 2 版 図書館ハンドブック編集委員会編 A5 694p 2000 部 5500 円 9 月 30 日刊
 - ⑨『図書館の自由ニューズレター集成 4』 2010-2015 図書館の自由委員会編 A4 335p 1000 部 2500 円 10 月 20 日刊
 - ⑩『学校図書館の教育力を活かす 学校を変える可能性』(JLA 図書館実践シリーズ 31) 塩見昇著 B6 178p 1500 部 1600 円 11 月 1 日刊
 - ⑪『レファレンスブック 選びかた・使いかた』 三訂版 長澤雅男、石黒祐子共著 A5 242p 3500 部 1400 円 12 月 20 日刊
 - ⑫『日本の図書館 統計と名簿 2016』 図書館調査事業委員会編 B5 513p 2200 部 14000 円 2 月 10 日刊
 - ⑬『対話に基づく図書館設計 設計は対話で深化する』 第 38 回図書館建築研修会 (2016 年度) 日本図書館協会編 A4 99p 150 部 2000 円 2 月 20 日刊
 - ⑭『図書館政策資料 XVI 指定管理者制度 4』 日本図書館協会編 A4 130p 200 部 1000 円 3 月 30 日刊
 - ⑮『図書館政策資料 XVII 指定管理者制度 5 日本図書館協会編 A4 114p 200 部 1000 円 3 月 30 日刊
 - ⑯『多文化サービス実態調査 2015 報告書』 多文化サービス委員会編 A4 228p 800 部 2500 円 3 月 31 日刊
- 増刷 (16 点)
- ①『レファレンスブック 選びかた・使いかた』 新訂版 長澤雅男、石黒祐子共著 600 部 1400 円 4 月
 - ②『情報サービス論』(JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 5) 3 刷 小田光宏編著

3000部 1800円 4月刊

③『図書館情報資源概論』(JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 8) 4刷 馬場俊明編著

2000部 1900円 4月刊

④『図書館の歩む道 ランガナタン博士の五法則に学ぶ』(JLA 図書館実践シリーズ 15) 3

刷 竹内愨編 500部 2000円 6月刊

⑤『図書館サービス論』(JLA 図書館情報学テキストシリーズⅡ 3) 9刷 小田光宏編著

1000部 1800円 6月刊

⑥『図書館員のための英会話ハンドブック 国内編』 7刷 古林洽子ほか著 500部

1670円 8月刊

⑦『ぼくは、図書館がすき 漆原宏写真集』 5刷 漆原宏著 500部 2800円 9月刊

⑧『防ぐ技術・治す技術 紙資料保存マニュアル』 6刷 「防ぐ技術・治す技術—紙資料

保存マニュアル」編集ワーキング・グループ編 500部 10月刊

⑨『図書館のめざすもの』 新版 3刷 竹内愨編・訳 500部 800円 10月刊

⑩『日本十進分類法 新訂10版』 4刷 分類委員会編 3000部 6500円 11月刊

⑪『「図書館の自由に関する宣言 1979年改訂」解説』 第2版 6刷 図書館の自由委員

会編 500部 850円 11月刊

⑫『問いをつくるスパイラル 考えることから探究学習をはじめよう!』 7刷 図書館利

用教育委員会図書館利用教育ハンドブック学校図書館(高等学校)版作業部会編著 500部

1000円 1月刊

⑬『情報資源組織演習』 新訂版 (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 10) 2刷 和中

幹雄ほか共著 2000部 1900円 2月刊

⑭『よい図書館施設をつくる』(JLA 図書館実践シリーズ 13) 6刷 植松貞夫ほか著 500

部 1800円 3月刊

⑮『図書館情報資源概論』(JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 8) 5刷 馬場俊明編著

1200部 1900円 3月刊

⑯『図書館概論』 四訂版 (JLA 図書館情報学テキストシリーズⅡ 1) 4刷 塩見昇編著

1500部 1900円 3月刊